

● 家族そろって毎日夕食をとるのは三人に一人  
 という集計結果から「生活に追われ子どもとの触れ合いが乏しい」との指摘がなされています。

こうした現況・実情をふまえて、本市の今年度の青少年健全育成PTA事業は、各小学校のPTAの協力をあおぎながら、親と子が共に活動し、ふれあう機会がもてるよう、表1のような計画が企画されました。

以下、この計画の中から「都市と農村を結ぶ楽しい子ども会」を取り上げ、その実践活動・内容を紹介します。

(一) 「都市と農村を結ぶ楽しい子ども会」の実際

この事業は、天栄村立広戸小学校PTA、東京都新宿区立淀橋第一・第四・第七小学校PTAと、さらに、東京都新宿区柏木地区青少年対策委員会の協力を得て、小学校五・六年生の児童を対象として、夏休みの時期を利用して実施する交歓会です。

東京との交歓会ということで、広戸小学校PTAでは「交歓会実行委員会」を組織し、当日を迎えるために、数回にわたり日程・内容等について事前に打ち合わせがもたれました。(表2参照)

1、ねらい

広戸小学校児童と東京都新宿区柏木地区児童による交歓会を実施すること

により、都市と農村の生活を理解するとともに、お互いに知り合い友情を深め、親と子のあたたかいふれあいの場をとおして、豊かな人間性を培う。

2、主な活動内容

(1) 歓迎会・開会式

天栄村にある羽鳥湖に面したキャンプ

ンブ・宿泊施設を備えた湯本青少年旅行村で実施されました。  
 あいにくの天候でしたが、予定どおり歓迎会・開会式が実施され、主催者挨拶・歓迎のことば・交歓のことば・スタッフの紹介等が行われました。

子どもたちの元気な声の中、スタッフの意気込みが感じられ、親子一

表2 都市と農村を結ぶ楽しい子ども会プログラム

時 日	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
七月三十一日(金)				集合(学校) 健康観察	出発	湯本青少年旅行村到着	荷物おろし・昼食	歓迎準備(新宿区一行を迎える)	自己紹介生活班編成各係決定	歓迎会	オリエンテーション	テント設置	夕飯	野外炊飯	夕飯	自由交歓	キャンプファイヤー	花火大会	消灯	ナイトハイク
八月一日(土)	起床	朝のつどい・朝食準備	朝食・後かたづけ	テント収納・記念撮影	出発・広戸小学校到着	農業体験(じゃがいも、とうもろこし収穫)	昼食(収穫祭をかねて)	それぞれの民宿へ出発	(それぞれの家庭の計画により過ごす)											
八月二日(日)	(8月1日の計画と同じ)			集合(広戸小学校)			お別れ会	新宿区児童・父兄出発	見送り	解散										

丸となって、この交歓会を成功させようとする雰囲気では盛りあがりませんでした。

(2) 野外炊飯活動

雨がばらつく中、野外炊飯活動が開始され、夜のメニューであるカレーライスの準備に入りました。

飯盒使用の際の水と米の量やたき方の指導、材料の確認等があったあと活動が開始されました。

米はこうしてとぐとか、ニンジン  
 の大きさはこのくらいとか、ジャガイモのくぼんだ所は庖丁のかどを使  
 って取るようにとか、玉ネギを切る  
 時は一切れ口にくわえると目にし  
 ないとか、火をたくときは空気のと  
 おりがよいようにといった親の経験  
 豊富なその場に即したアドバイス  
 を受けながら、ぎこちない手つきで、  
 それぞれ分担された作業を熱心にす  
 すめるいきいきとした子どもたちの  
 姿が見られました。

「ああ、けむいなあ」と、目をこ  
 すりながら薪をくべる子どもたち。  
 「昔は、毎日こうしてごはんやみ  
 そ汁を作ったんだぞ」の親のことば  
 もこの日ばかりは説得力十分です。  
 時間がたつにつれて、どの班から  
 も香ばしいカレーの匂いが漂います。  
 そんな中、額に汗して働くことの  
 大切さを体験できた喜びの顔や、親  
 が協力して一つの事をやりとげた満  
 足感あふれた顔が見られたことは、